

# Q つるがしまブランドの振興を

# A 地元協議会で検討

川合 利枝 議員

質問一 脚折雨乞行事を盛り上げる一環として記念切手の発行を。  
二 龍神を冠した地ビールのPRについて。

三 ふるさとの郷構想での遊休農地の活用を含めた営農集団の組織づくりの検討の進捗状況は。

四 農産物直売センターの出荷状況の実態について。  
五 ふるさとの郷構想の農家レス

トランの検討について。  
六 小中学校の体験学習「学校フアーム」について。

答弁一(教育委員長) 記念切手を今回は見送ったが、脚折雨乞行事保存会と連携を図り、検討していく。

二(市長) 市の新たな特産品として、支援とPRに努める。  
三 市民共有のふるさとを守るふ



鶴ヶ島地ビール‘RYUJIN BEER’と洋菓子‘幸せの龍のたまご’

るさとの郷構想では、おおむね10年以内に取り組むとしている。  
四 平成19年度収益は約3億2600万円、いるま野農協管内においてはトップクラスである。  
五 地域経済を活性化する仕組み作りが構想で求められており、レストランの検討も挙げられている。  
六(教育委員長) 小学校8校、中学校2校で実施している。  
◎その他の質問 防犯灯、道路照明灯等の維持管理費について

# Q 学校給食の値上げはやめて

# A 16年間上げておらず避け難い

松村 和子 議員

質問一 学校給食の値上げが検討されているが、市民生活を守るためにも給食費の値上げはやめていただきたい。

二 学校給食施設の更新について、センター方式でのPFIの導入を含む民間委託を検討していることだが、安全は守れるのか。  
三 民間委託をやめることについて。  
三 地産地消の学校給食への今後の取り組みについて。

答弁一(教育委員長) 給食食材の一括購入、年間単価契約や定番のものを使うなどの合理化と経費節減をしているが、メニューも同じようなものになっており、16年



さあ、給食だ!

間据え置いている現状で、値上げは避けられないと考える。

二 平成26年度の供用開始を目指し取り組んでいる。先進事例やPTAのご意見からセンター方式が最善と考えている。今後、PFI方式を含む民間委託の導入が可能かどうかの調査を実施していく。  
三 15年度から鶴ヶ島産の農作物の活用を図っている。今後とも地産地消を積極的に推進していく。

### ◎その他の質問

一 市内循環バスの見直しにあたって、利用しやすい運行を  
二 アウトソーシングの導入をやる、公契約条例の制定を